

# 令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

岩手県

学校名

花巻市立花巻北中学校

人権課題

子供

対象学年・  
取り扱った教科等

全学年・特別活動（生徒会活動）

目標・人権教育のねらい

無知からくる偏見・差別意識を排除するために「学ぶ（知る）」ことを通して、自分を愛し、他を愛する「共生社会」を目指す生徒の育成

実施した内容

毎月実施の「生徒アンケート」において、学校として「いじめ」や「日常生活で困っていること」の有無を把握し、指導にあたりとともに、平成28年度に生徒総会において決議した「いじめ・いやがらせに関わる7つの提言」の取組状況を生徒会執行部が調査し、花巻市が定める「いじめ防止を考える日（毎年6月1日）」に合わせて実態を発表するとともに、人権を守る行動として改善が必要な点を問題提起することで全校生徒の人権意識を高める。

工夫した点

「先輩が生徒会決議により定めた提言」の現在の取組状況を確認することを通して、話し合いで決めたことを守る自治及び民主主義のあり方を体験的に学ぶこととしている。また生徒自身が自己の人権意識や人権を守ろうとする態度を振り返る機会であり、浮き彫りとなった課題に対して生徒会執行部が問題提起をおこなうことで、主体的なより良い集団づくり及び人権を尊重した生活の意識化にあたることとした。

他教科との  
関連

社会科・道徳科

事業成果

【価値・態度的側面】事業実施；5月（実態調査）・6月（問題提起）  
→ 「すべての人が大切にされないとならないと思う」生徒の割合  
4月；第1回人権意識調査 95% 12月；第2回人権意識調査 98%

# 令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

岩手県

学校名

花巻市立花巻北中学校

人権課題

③障害者

対象学年・  
取り扱った教科等

全学年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

無知からくる偏見・差別意識を排除するために「学ぶ（知る）」ことを通して、自分を愛し、他を愛する「共生社会」を目指す生徒の育成

実施した内容

学区内にある障がい者アート美術館から、知的障がい者アーティストを招き、アート表現の解説や動画を通じて、その人の生い立ちや家族の支え、本人の思いを理解する体験的な講演により、「見た目や先入観で決めつけず、相手を知ることが大切」であることの理解を図った。学区内福祉施設との連携により実施した本事業は、NHK E-テレ「ハートネットTV」により全国放送され、事業の価値付けをおこない生徒の意識向上を図った。

工夫した点

知的障がい者アーティストの作品制作の様子及び顔の表情等を、タブレットを活用して撮影、スクリーンに拡大投影して、細部まで全校生徒に伝わるようにした。また、代表生徒が登壇し、自分の名前をアートに表現してもらったり、生徒の間を歩いて退場するなど、生徒と障がい者アーティストが交流・触れ合う機会を設けた。更には、事前に障がい者アーティストの作品をミニ美術館として生徒昇降口に展示し、意識・感心を高めてから実施した。

他教科との  
関連

美術科・道徳科

事業成果

【知識的側面】事業実施；9月  
→ 12月調査；「見た目や先入観で決めつけず、相手を知ることが大切」と考えて行動することが出来ていると回答した生徒の割合 96%（事業3ヶ月後でも人権意識が継続）

# 令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

岩手県

学校名

花巻市立花巻北中学校

人権課題

⑥外国人

対象学年・  
取り扱った教科等

全学年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

無知からくる偏見・差別意識を排除するために「学ぶ（知る）」ことを通して、自分を愛し、他を愛する「共生社会」を目指す生徒の育成

実施した内容

花巻国際交流協会からJICA青年海外協力隊OGを招き、本人の生き方を学ぶとともに、自分と違う考え方の人と接し、異文化で生活した実体験を聴く**講演**により、「自分と違う考えを持つ人や異文化の人でも受け入れることが大切」であることを理解させ、アジア圏の外国人に対する偏見や誤った理解を払拭させることをねらった。

工夫した点

生徒にとって身近に感じている外国人の欧米の人々ではなく、アジア圏の人々に目を向けさせ、講師は派遣先のインドネシアの民族衣装を着たり、生活体験から来る具体的な異文化での生活の様子をビジュアルとして提示した。日本人である自分とは異なる価値観を紹介しつつ、それを否定することなく受け入れ、相互に尊重し合うようになっていった自分自身の変容の様子を中心に生徒に伝えていただいた。

他教科との  
関連

社会科・英語科・道徳科

事業成果

【知識的側面】事業実施；7月  
→ 12月調査；「自分と違う考えの人や異文化の人でも受け入れること」を考えて行動することが出来ていると回答した生徒の割合 97%（事業5ヶ月後でも人権意識が継続）

# 令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

岩手県

学校名

花巻市立花巻北中学校

人権課題

⑩インターネットによる人権侵害

対象学年・  
取り扱った教科等

全学年・技術科

目標・人権教育のねらい

無知からくる偏見・差別意識を排除するために「学ぶ（知る）」ことを通して、自分を愛し、他を愛する「共生社会」を目指す生徒の育成

実施した内容

本県の教育運動である「教育振興運動」の全県共通課題「情報メディアとの上手なつきあい方」の推進を担ってきた県立生涯学習推進センターの元職員（現当該校校長）が講演をおこなった。本校生徒の情報メディアに係る実態調査の結果及びインターネットによる人権侵害という現代的な課題を踏まえて、「情報メディアの危険性と人権侵害とならない留意事項」を視覚的、具体的、体験的に理解を図った。

工夫した点

毎年実施している本校生徒の実態調査の結果を紹介しつつ、生徒の日常生活の中で起こっているインターネットをめぐるトラブルの要因や安易な考えによる人権侵害を具体的に紹介し、生徒に身近に感じさせる内容とした。また、視覚に訴えるとともに、体験的な内容も取り入れて実施した。

他教科との  
関連

社会科・道徳科・総合的な学習の時間

事業成果

【知識的側面】事業実施；2月  
→ 事業後調査；「情報メディアの危険性を理解し、人権侵害とならない使い方」に注意しなければならないと回答した生徒の割合 99.3%（ほぼ100%の生徒が理解した）

# 令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

岩手県

学校名

花巻市立花巻北中学校

人権課題

⑬その他（基本的人権）

対象学年・  
取り扱った教科等

全学年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

無知からくる偏見・差別意識を排除するために「学ぶ（知る）」ことを通して、自分を愛し、他を愛する「共生社会」を目指す生徒の育成

実施した内容

花巻市が定める「いじめ防止を考える日（毎年6月1日）」において、生徒会執行部がおこなった「いじめ・いやがらせに関わる北中の7つの提言（平成28年度生徒会策定）」の実態調査の結果を踏まえ、生徒会執行部から全校生徒に問題提起をおこなった後、岩手県弁護士会の弁護士から「人権の概要（人権とは何か）」に係る**講演**をいただき、考えを深める取組をおこなった。

工夫した点

教育行政における人権教育の取組の充実を図るべく、①生徒会としての取組（全校生徒の実態調査を集計した結果を分析し、全校生徒への問題提起）、②校長講話、③専門家による講演会の3段階によって、自己の考えを深める事業とした。生徒会執行部が取り組むことにより、生徒に「自分事」として意識させる取組みとした。

他教科との  
関連

社会科・道徳科

事業成果

【知識的側面】事業実施；6月  
→ 12月調査；「自分を大切にし、自分以外の人も大切」と考えて行動することが出来ていると回答した生徒の割合 95%（事業6ヶ月後でも人権意識が継続）

# 令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

岩手県

学校名

花巻市立花巻北中学校

人権課題

⑬その他（基本的人権）

対象学年・  
取り扱った教科等

全学年・特別活動（生徒会指導）

目標・人権教育のねらい

無知からくる偏見・差別意識を排除するために「学ぶ（知る）」ことを通して、自分を愛し、他を愛する「共生社会」を目指す生徒の育成

実施した内容

1・2年生を中心とした全校生徒会執行部、新専門委員長、新応援団長、各学年執行部を対象とした「リーダー研修会（12月実施）」において、埼玉県教育委員会が作成した「人権感覚育成プログラム増補版（学校教育編）」の**アクティビティ**「新しい大陸に向けた航海」を使用し、人権の概念と重要性について体験的に理解を深め、人権が尊重される“学校”を築いていこうとする実践力の育成にあたった。

工夫した点

令和2・3年度人権教育研究指定校である埼玉県入間市立金子中学校に先進校視察として訪問（11月実施）した際、埼玉県教育委員会が作成した「人権感覚養成プログラム」について学び、新生徒会におけるリーダー育成に活用した。参加的・協力的・体験的なアクティビティにより人権感覚を体感的に身につけさせるプログラムであり、令和5年度の学級経営・学年経営にも取り入れ、人権感覚の育成に努めていく。

他教科との  
関連

社会科・道徳科

事業成果

**【技能的側面】**  
参加的・協力的・体験的なアクティビティにより、生徒は意欲的に活動に取り組み、人権を学ぶ感覚を持たずに人権を考えて思考し、自然と人権感覚を身に付けさせることができた。

# 令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

岩手県

学校名

花巻市立花巻北中学校

人権課題

⑬その他（自己肯定感の向上）

対象学年・  
取り扱った教科等

全学年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

無知からくる偏見・差別意識を排除するために「学ぶ（知る）」ことを通して、自分を愛し、他を愛する「共生社会」を目指す生徒の育成

実施した内容

本県在住のよしもと芸人である天津木村氏・アンダーエイジ氏を講師に迎え、中学生時代の様子、夢を追いかける原動力や下積みの苦労等、自身の実体験を笑い話（ネタ）にしながら生徒に伝える笑いの絶えない講演をおこなった。本事業は、県内民放テレビ局にてニュースとして放送されるほか、新聞2紙により紹介され、事業の価値付けをおこない生徒の意識の向上を図った。

工夫した点

日頃、テレビで見る芸人を講師として招くことで、生徒の興味関心・意欲を高め、自身の体験談を笑い話（ネタ）にして講演いただくことで、自然と生徒の心に浸透し、「自分は自分のままでいい」と生徒自身の自己肯定感を高める機会とした。県内民放テレビ局の取材を招いて事業の価値付けをおこなうとともに、芸人と生徒の会話のやりとりや退場時の生徒との触れ合いの場を間を設けた。

他教科との  
関連

道徳科

事業成果

【価値・態度的側面】事業実施；12月  
→ 事業後調査；「人と比べず、自分はじぶんのままでいい」と思えるようになったと回答した生徒の割合 96%（生徒の感想を含め、自己啓発が進んだものとする）

# 令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

岩手県

学校名

花巻市立花巻北中学校

人権課題

⑥外国人  
⑬その他（自己肯定感の向上）対象学年・  
取り扱った教科等

全学年・特別活動（生徒会活動）

目標・人権教育のねらい

無知からくる偏見・差別意識を排除するために「学ぶ（知る）」ことを通して、自分を愛し、他を愛する「共生社会」を目指す生徒の育成

実施した内容

ロシアのウクライナ侵攻に対して、生徒会執行部が全校生徒に対して「人道支援」の必要性を提案し、生徒総会（4月）において決議。ユニセフに協力する**募金活動**や**平和教育活動**（千羽鶴制作）に取り組むほか、平和教育の一環として花巻市立博物館学芸員による「花巻空襲」学習（3年社会）をおこなったり、他者を思いやる**福祉・国際貢献活動**（ちょボラ）に全校生徒に提案、有志参加者により取り組んだ。

工夫した点

生徒会執行部の自発的な考えを全校生徒に広げ、具体的な活動を展開する方法を支援することで、一連の取組みを1年間を通じての「人権」を意識した取組みとして繋げてきた。生徒の提案に全校生徒が主体的に参加することで、社会の構成員として「自分の出来ること」に取り組む、「人の役に立つ経験」を通して自己肯定感を高めるとともに、「困る人を出さない社会」をつくる人権意識の高揚に体験的に取り組ませた。

他教科との  
関連

社会科・道徳科

事業成果

【価値・態度的側面】生徒会執行部及びボランティア委員会が中心となって募金活動を展開し、多くに生徒が参加するとともに、千羽鶴制作は全校生徒の取組みとして実施、人権意識の高まりが見られた。  
〔第1回募金（10万円）・第2回募金（4万円）・ちょボラ有志参加；延べ66名/全校312人中〕